防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成30年度病害虫発生予察防除情報第9号

普通期水稲 トビイロウンカの防除対策について

トビイロウンカの現在の飛来状況は下記のとおりとなっており、7月5~6日にかけて平年並の飛来があったと思われます。向こう1か月の気温は平年より高いと予想されていることやセジロウンカの飛来が少なく増殖に適することから、今後の発生は平年よりやや多いと予想されますので、圃場での発生に注意して防除の徹底をお願いします。

記

1.トビイロウンカ

(1) 飛来状況

- ア 県予察圃場 (諫早市、無防除) において見取り及び払い落とし調査では確認できなかったが、圃場内に設置した黄色粘着板において 7月2半旬に確認した。
- イ 現在、予察灯、ネットトラップ (表)及び巡回調査では確認していない。
- (2)防除対策
 - ア 本虫の今後の発生予測は別紙図のとおりであり、これまでの主要飛来における<u>基幹防除の</u> 適期は第一世代幼虫を対象とした7月5半旬と予想される。
 - イ 株元を好んで寄生するので、株元へ十分に薬剤が付着するよう丁寧に薬剤散布を行う。
 - ウ 圃場間や同一圃場内でも偏って発生していることが多いので、圃場の見回りを徹底する。
 - エ 今後の圃場での発生状況に十分注意し、7月下旬~8月上旬に100株当たり20頭以上 の成虫の寄生が認められる場合、幼虫ふ化揃い期に防除を行う。

【参考】コブノメイガ

- (1)飛来状況
 - ア 6月5半旬を主体にフェロモントラップ(諫早市)へ誘殺が認められた(表)。
 - イ 長崎市琴海戸根、佐世保市、壱岐市のフェロモントラップにおいて、6月下旬から7月 上旬にかけて誘殺を確認した。
- (2)防除対策
 - ア 本虫の今後の発生予測は別紙図のとおりであり、薬剤散布は、粉剤・液剤では成虫発生 最盛期の7~10日後、粒剤では成虫発生最盛期に行う。
 - イ 圃場間や同一圃場内でも偏って発生していることが多いので、圃場の見回りを徹底する。

表 トビイロウンカ、コブノメイガの誘殺状況(平成30年)

	トビイロウンカ						コブノメイガ	
月·日	諫早			佐世保	北有馬	岐宿	諫早	
	予察灯	ネットA	ネットB	予察灯	予察灯	予察灯	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB
6/16	0	0	0	0	0	0	0	0
6/17	0	0	0	0	0	0	0	0
6/18	0	0	0	0	0	0	0	0
6/19	0	0	0	0	0	0	0	0
6/20	0	0	0	0	0	0	2	0
6/21	0	0	0	0	0	0	0	0
6/22	0	0	0	0	0	0	12	0
6/23	0	0	0	0	0	0	2	0
6/24	0	0	0	0	0	0	0	0
6/25	0	0	0	0	0	0	0	0
6/26	0	0	0	0	0	0	0	0
6/27	0	0	0	0	0	0	0	0
6/28	0	0	0	0	0	0	0	0
6/29	0	0	0	0	0	0	0	0
6/30	0	0	0	0	0	0	1	0
7/1	0	0	0	0	0		0	0
7/2	0	-	-	0	0		0	0
7/3	0	-	-	0	0		0	1
7/4	0	0	0	0			2	0
7/5	0	0	0				1	0
7/6	0	-	-				11	1
7/7	0	0	0				11	<u> </u>
7/8	0	0	0				4	1
7/9	0	0	0				4	I
7/10	0	0	0				4	4

ネット ・ネットトラップ A: 予察圃場横 ・ネットトラップ B: 防除所横 フェロモントラップ A (4/21 植え早期水稲に設置)、フェロモントラップ B (6/1 植え普通期水稲に設置)

データ欄の空欄は未調査、 - は欠測

6月1日から8月31日までの3か月間を「農薬危害防止期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

水稲穂吸汁性カメムシ類防除のため水田に散布する殺虫剤により、「蜜蜂」に被害が生じる可能性がありますので、十分な配慮をお願いします。

長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス: http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

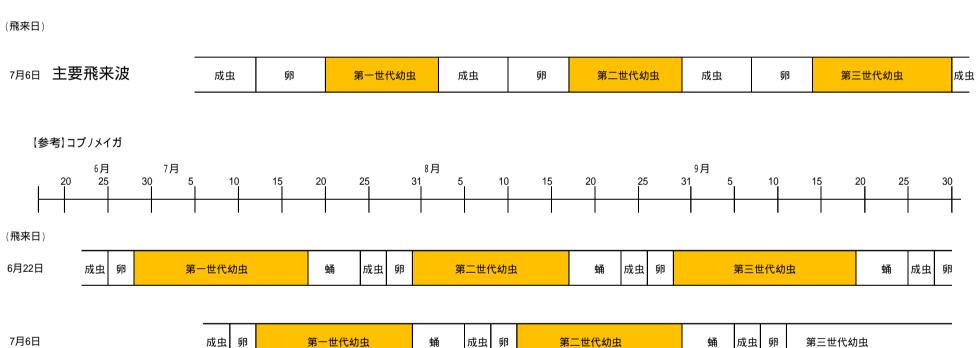
長崎県病害虫防除所 TEL: 0957-26-0027



(図) トビイロウンカ、コブノメイガの発生予測図(平成30年)

1.トビイロウンカ





発生予測の気温は諫早市貝津町(農林技術開発センター)のデータを用いた(7月8日まで実測値、9日以降は平年値)